

令和元年度宗谷管内地域農業づくり懇談会について

1 趣旨

農業改良普及センターにおける効果的な普及活動を推進するとともに、普及活動の成果等の提供を通じ外部の一層の理解と協力を得るため、農業関係者をはじめ商工観光業者、流通加工業者などの幅広い観点から客観的な評価を得て、今後の活動の目標の設定、活動方向、活動体制及び行政施策や試験研修の取組などに反映させることを目的に、宗谷管内地域農業づくり懇談会を開催した。

2 開催日時

令和2年（2020年）1月29日（水）13：00～15：00

3 場所

酪農試験場天北支場 2階会議室

（〒098-5738 枝幸郡浜頓別町緑ヶ丘8丁目2番地）

4 主催

北海道宗谷総合振興局

5 内容

- （1）宗谷農業改良普及センターの活動概要
- （2）宗谷農業改良普及センターの取組事例
 - ① 「次世代を担う経営者育成による地域の発展」
 - ② 「女性農業者の学習活動支援」
 - ③ 「新規就農者の経営能力の向上」
- （3）意見交換

6 地域農業づくり懇談会構成員

- （1）農業代表者：宗谷南部指導農業士・農業士会
- （2）農業関係団体：JA 宗谷地区青年協議会、JA 宗谷地区女性協議会、酪農法人代表者情報交換会 TMR センター連絡会、f f 宗谷
- （3）商工観光業代表：浜頓別町観光協会
- （4）流通加工業者：よつ葉乳業株式会社宗谷工場、ホクレン農業協同組合連合会
- （5）教育関係者：猿払村立浅茅野小学校
- （6）試験研究機関：北海道立総合研究機構農業研究本部酪農試験場天北支場
- （7）北海道農政部技術普及課酪農試験場天北支場技術普及室
- （8）宗谷総合振興局、宗谷農業改良普及センター

7 出席者

33名

【令和元年度 宗谷管内地域農業づくり懇談会発表要旨】

○発表1 「次世代を担う経営者育成による地域の発展」

(宗谷本所地域担当) 中頓別町)

中頓別町では、平成 24 ～ 27 年度までに生乳出荷農家戸数が 44 戸から 36 戸、出荷乳量が 17,985t から 16,672t に減少しましたが、一方で、40 歳未満の若手農業者が 17 名と比較的多く、TMRセンター(利用農家 10 戸)やコントラクタ組合(利用農家 16 戸)が稼働しています。

普及センターでは、平成 28 年から中頓別町全戸を対象に、生乳生産量・効率を高めるための普及活動を実施しています。具体的取り組み内容は、農家ごとの飼養管理技術の改善、牧草の量・質を安定して確保する仕組み作り、若手農業者を中心に技術情報を共有する場の設定などです。

今年度は、それらの取り組みの定着に向け、牛舎の小改造や飼料組み合わせの見直し、サイロの環境整備や施肥の改善、懇談会やワークショップの開催について、関係機関・団体と協働しながら支援しています。

○発表2 「女性農業者の学習活動支援」～まずは、楽しく学べる場作りから～

(宗谷北部支所) 稚内市、豊富町、幌延町)

酪農経営は、女性が責任を持って携わる作業が多く、女性ならではの視点や能力を生産技術を活かすことができる農業形態です。

宗谷北部では女性対象の技術講習が少なかったことから、宗谷北部支所管内(稚内市・豊富町・幌延町)で営農に携わっている酪農女性をターゲットとし、農協・獣医師・飼料メーカーなど関係団体と連携したセミナーの企画・開催を実施しました。

今年度は、『酪農の楽しみを見つける』、『子牛の管理』、『クミカンで経営を知ろう』の3本のテーマを持ち、技術の習得や向上を図ると同時に、技術が上がれば経営も向上するという営農の楽しみを理解していただくことを重要視しました。

2回を終えたところで延べ31名の参加があり、継続を望む声も増えています。

地域酪農女性の意欲と声、残された課題等についてご報告いたします。

○発表3 「新規就農者の経営能力の強化」～ルーキーズカレッジの取り組み～

(広域担い手) 宗谷管内一円)

酪農技術「土、草、牛」、経営管理技術「簿記、クミカン」等の幅広い酪農経営における基礎技術が習得できる研修会を開催し、受講生が指導農業士・農業士など地域の農業者、関係機関とのつながりをつくる場を提供することで、将来の宗谷農業を担う人材を育成することを目的にSOYAルーキーズ☆カレッジ第4期を開講しました。

2019年10月から、2カ年のカリキュラムでスタートし1年目は、飼養管理、繁殖管理、育成牛管理について座学とバーンミーティング、実習、座談会を組み合わせ実施しました。「自分の経営、将来の経営目標を考える場になっている」と参加者からの声もあり、継続して出席している参加者も多く、盛会となっています。